

糖尿病と上手に付き合うための 糖尿病地域連携パス

糖尿病は自覚症状が乏しいため、知らない間に神経障害、網膜症、腎臓病などの合併症が進行し、生活を脅かすことがあります。そのため、かかりつけ医によるきめ細やかな診察を受け、合併症の早期発見につなげることが大切です。

糖尿病地域連携パスは、日常の定期診療は「かかりつけ医」で、糖尿病療養指導や合併症の検査は「専門病院」で、という役割分担を行い、連携を取りながら治療を進めていく診療形態です。

